



この夏の研修医の取り組みについてご紹介します！

鳥取生協病院の「初期研修PV」が完成しました！

鳥取生協病院の初期研修医が出演するプロモーションビデオ【鳥取県で臨床研修をしてみませんか】鳥取生協病院」が公開されました！

鳥取県臨床研修指定病院協議会が企画したもので、県内8つの研修施設の動画がアップされています。鳥取生協病院のビデオでは、今年度から初期研修を開始した4人の研修医が、それぞれ感じている生協病院の魅力、鳥取県での研修の良さを語ってくれました。

初期研修をどこで行うかお悩みの皆さん、将来勤めていく病院でお考え中の皆さん、必見ですよ！



鳥取県臨床研修指定病院協議会HPへジャンプ！



【鳥取県で臨床研修をしてみませんか】

鳥取生協病院

鳥取県で臨床研修をしてみませんか。...

YOUTUBE.COM

環瀬戸内「ベッドサイドティーチング」

8/26に、中四国で活躍する民医連の初期研修医、鳥取生協病院に集まり、ベッドサイドでの身体診察などのクチャーを行いました。

鳥取生協病院の研修医に加え、岡山や広島、愛媛などの研修医13名が研修、交流しました。

民医連では、全国や中四国での研修医同士の交流などを定期的に行っており、みんなで学び、みんなで成長すること度大切にしています。

ぜひ一度、鳥取生協病院など鳥取民医連の事業所に見学・実習にお越しください！



第52回鳥取しゃんしゃん祭！

毎年お盆の時期に鳥取市では、鳥取県東部地方に古くから伝わる「因幡の傘踊り」をいっせいに踊る「鳥取しゃんしゃん祭」を開催しています。

鳥取生協病院の研修医も、踊り子として参加しました！地域でのふれあいや、病院の多職種との交流など、さまざまな体験を通じて成長しています。



鳥取生協病院
研修医・医学生
facebook

鳥取生協病院の研修医の日々を綴ったFacebookページです。



研修や企画参加の感想から、ランチや日頃の様子などを随時更新中！
「いいね！」お願いします！！

その他のお知らせは、鳥取民医連HPへ！
実習や企画のご案内をしています。最新情報はコチラでチェック



因伯兔

いんぱくと

発行月：2016年10月

発行元：鳥取県民主医療機関連合会

- 夏の高校生一日医師体験に総勢12名が参加！
- 医療連続講座「家庭医療学をカジる」始まる！
- 病院実習-鳥取大学の学生に聞きました
- コラム：福島は変わっていない(被災地訪問報告)

鳥取民医連ホームページも随時更新中！

ぜひご覧ください



医療連続講座「家庭医療学をカジる」始まりました！

9/17から、米子医療生協の梶野大先生を講師に迎えた、鳥取民医連の医療連続講座「家庭医療学をカジる」が始まりました！第一回は、3名の学生が参加しました。

今回のお話は、「疾患・病・病気の違い」、「家庭医療の役割」といった真面目なものから、「ブラックジャックは家庭医!?」というテーマまで、多彩な内容であったという間の1時間でした。

参加した学生からは、「昔は喘息も精神疾患とされていたのに驚いた」「薬をたくさん処方されている人や、介護を受けられない高齢の方などの‘幸せ’を家庭医や多職種で考えていく必要があると思う」といった意見をいただきました。

今回は、「家庭医療学会三国志!?」など、制度面を中心に学びます。12月まで毎月第3土曜日開催中です（詳しくは鳥取民医連HPをご覧ください）。皆さんのご参加、お待ちしております！



今後の予定

10月

15日：第2回家庭医療学をカジる @ 鳥取民医連医系学生サポートセンター

21日：わんぱくカフェ(子どもの居場所作りの取り組み) @ 米子医療生協おたか診療所隣

11月

12日：鳥根原発フィールドワーク

14日：高校生企画 模擬面接 @ 米子医療生協

15日：高校生企画 模擬面接 @ 鳥取生協病院

19日：第3回家庭医療学をカジる @ 鳥取民医連医系学生サポートセンター

12月

17日：第4回家庭医療学をカジる+開校式 @ 鳥取民医連医系学生サポートセンター

1月

14日：全日本民医連中四国地協「臨床研修説明会」 @ サンポート高松

講師：西村真紀 医師(ドクターGなどにも出演！詳しくは別紙をご覧ください)

病院実習 鳥取大学の医学科Mさんに聞きました！

この夏、鳥取生協病院に十二名の学生が病院実習に来ました！
その中から、八月一日〜二日で実習した、鳥取大学のMさんにお話を伺いました。
定期的に鳥取生協病院で実習しているMさん。

— 今回の実習はいかがでした？ —
「普段は（志望科の）精神科を見ているのですが、今回は希望した脳外科や消化器も見させて頂きました」

— 印象に残ったことは？ —

「外来見学の話ですが、消化器内科ですと生協病院に通院している高齢の方がいらして、担当の先生が少しお休みされるので『病院変わりますか？』と聞いたら、『ずっと生協だけ生協がいい』と仰っていたのが印象的でした。」

— なるほど。実習する中で感じる鳥取生協病院の良さは何ですか？ —

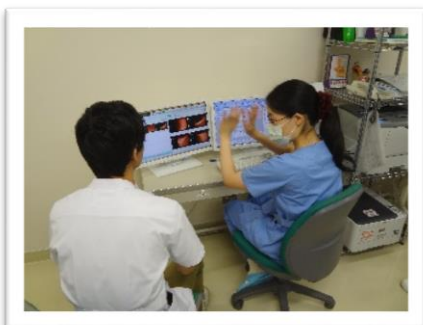
「そうですね。医局が一つなので、他の科の先生とも話しやすいところがいいと思います。先生も他の職員さんも、学生にとても親切に接してくれるので、（実習して）とてもありがたいです。」

— 実習を用意する側も嬉しくなりますね。最後に、まだ実習に来たことが無い学生さんに一言！ —

「鳥取民医連、鳥取生協病院の実習は、希望に合わせて実習メニューを作ってくれます。見たいもの（科や手技など）があるなら（担当者に伝えると）いい実習ができると思います。」

— ありがとうございます！ —

鳥取民医連の病院実習は、実習に来られる方の希望に合わせた実習メニューを作成しています。実習は随時受け入れておりますので、詳しくは鳥取民医連ホームページをご覧ください。（表面のQRコードを掲載しています）

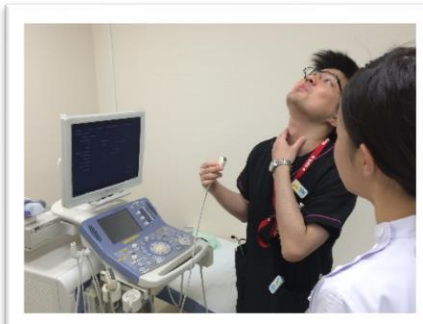


Mさん実習メニュー
8/1~2
心療科外来見学
リハビリ見学（高次脳機能障害）
消化器内科見学

他にも、検査を体験してみたり、研修医からレクチャーを受けて、病院職員に検査実施したりしています。



呼吸機能検査の様子。肺活量は正常かな・・・



研修医の甲状腺エコーのレクチャーを受けています



コラム-福島は変わっていない

—鳥取民医連福島被災地訪問ツアー報告—

毎年鳥取民医連が取り組んでいる福島被災地訪問学習ツアーで約1年ぶりに福島にやってきました。震災から5年半が経ち、昨年積み上がっていた汚染土の入っているフレコンバック(トン袋)も少しは数が減っているだろうと思い、視察に行きました。

しかし結局はトン袋の場所を少し移動させただけで、田んぼや畑に積んだままになっているところも多く、愕然としました。東京五輪開催決定に際して、政府は「福島の復興は進んでおり、福島原発は問題ない」と強調しましたが、「政府はこれで福島の復興はなされたと思っているのだろうか」と感じずにはられませんでした。

トン袋が山積みで、通常の放射線量の倍の線量（約0.8μSv）が計測される山木屋地区（居住制限区域）を訪問し、「2017年の3月から帰っても良い」という避難指示の解除が政府の方から出ているが、何を根拠に帰れると言っているのか。

「福島から離れたくなくても子どものことを考えると離れざるを得なかった」という福島を離れた人の思い、「原発で家族をばらばらにされて辛い」という福島に残った人の思い、様々な思いを感じながら、「もし自分の故郷が原発で奪われたら」ということを想像すると、居てもたってもいられなくなりました。

このような福島の学習ツアーがあれば今後も参加したいと思います。



↑ 処分ができない汚染土、放射線量が高く片付けることができない瓦礫の山・・・
福島の問題はまだまだ終わっていません。

夏の高校生一日医師体験に総勢12名が参加！

7/29~8/19にかけて鳥取で4回、米子で2回医師体験を行い、12名の高校生・予備校生の参加がありました。鳥取でも米子でも高校生のいきいきとした姿、「絶対に医師になるんだ」という強い思いを感じ、医学部受験を応援するこちらが元気をもらう程でした。

鳥取の体験では「所得が低くても安心して医療を受けることのできるシステムがあり、非常に充実した場所だと思いました。」と鳥取生協病院の無料低額診療事業・差額ベッド代を取らないなど制度のことについて感想を頂きました。

次の医師体験は2016年の冬に開催する予定です！

